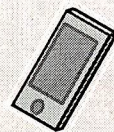


考査課情報

令和3年4月
第 142号

大 分 類	共通（法令・通達）
中 分 類	情報通信類
保存年限等	暦2024年12月末

あなたのスマホの使い方、大丈夫ですか？



－ 勤務時間中編 －

近年、スマートフォンの機能やアプリが充実し、ビデオ通話、ショッピング、預金取引、SNS、動画視聴、ゲームなど、スマートフォン一台で日常生活の多くを行えるようになってきています。

ただし、便利だからといって、誤った使い方をすると、事件やトラブルを発生させてしまう要因にもなります。特に、私たち国家公務員は、職務専念義務が課せられており、勤務時間中のスマートフォンの使用については、十分に注意を払う必要があります。

今回の考査課情報では、過去にマスコミ報道された公務員によるスマートフォンに関連した職務専念義務違反事例を紹介しますので、「自分自身の行動に当てはまることはないか」をぜひチェックしていただき、事件等の未然防止に役立ててください。

報道 国税職員、勤務時間中にFX 確定申告漏れも・・・

K 国税局は、勤務時間中に職場のトイレの個室などでスマホを利用してFXや株取引を277回していたとして、●●税務署に勤務する職員を懲戒処分にした。さらに、職員は、取引で得た所得を申告していなかった模様。

報道 消防署長 勤務時間にゲーム 市が懲戒処分

勤務時間中にスマートフォンのゲームをしていたとして、●●市の消防署長を懲戒処分にした。署長は「喫煙所で喫煙する際に、スマホを使い繰り返しゲームをした」旨供述しており、本件は匿名の通報により発覚した。

報道 ツイッターに税情報 市職員の投稿写り込む

市役所資産税課の職員が、仕事中に、自身の卓上の菓子や飲料をスマホで撮影し、ツイッターに投稿、投稿した画像に市内企業の申告書の一部が写り込み、税務情報が漏れる事態が発生。漏洩を指摘する匿名メールが市に届き発覚。

離席時にスマホは必要ですか？

勤務時間中にスマホを私的に使って株取引やゲームなどをすることは、職務専念義務違反です。

仕事中にこっそり私的なことでスマホを使っているそこのあなた！！

今すぐにやめてください

税務職員としての自覚を持ち、良識と節度ある行動をとりましょう。



気を付けるポイント



場面	気を付ける行動	リスク 又は 周囲からの目	注意すべき事項
署内 (庁舎内)	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSへの投稿 ・署内での写真撮影 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事中に写真等をSNSへ投稿すると、職場内の情報漏洩及び画像の位置情報から投稿者の勤務地などを把握される危険 ※ 個人情報及び署内の情報が漏洩する可能性 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場内での写真撮影やSNSの投稿は、知らず知らずのうちに情報が洩れてしまっている可能性があります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホを手に持ち長時間離席する 	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの職員や納税者から「仕事なの?」「遊んでいるのでは?」と疑惑や誤解を持たれる可能性 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の非行事件では、勤務時間中にトイレの中で株、FX取引を行っていたとして、懲戒処分等を受けた職員が多数います。周囲から誤解を受ける行動は避けましょう。
署外 (庁舎外)	<ul style="list-style-type: none"> ・調査先でのスマホ使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・証拠物等を個人のスマホで撮影した場合、スマホのウイルス感染により、その画像の位置情報や調査情報等が洩れてしまう危険 	<ul style="list-style-type: none"> ・私物スマホは職務での使用を禁止しておりますので、調査等の仕事で利用することはやめましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> ・出張の移動中にスマホを私的に使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・出張の移動中に私的にスマホを使用(SNSへ投稿など)をすることは、第三者から職務専念義務違反を指摘される危険 	<ul style="list-style-type: none"> ・出張の移動時間中も職務専念義務が課せられます。移動中も公務員である自覚を持ち、私的なスマホ利用はやめましょう。なお、SNS上に、仕事に関する投稿をすることもやめましょう。

【参考】

※出典：総務省

ソーシャルメディアの私的利用に当たっての留意点

～国家公務員として特に留意すべき事項～

1 法令(国家公務員法、著作権法等)の遵守

国家公務員法に規程する守秘義務、信用失墜行為の禁止や政治的行為の制限に違反する発信を行わないこと。なお、次に掲げる発信は、信用失墜行為に該当する場合がある。

- (1) 職務の公正性又は中立性に疑義を生じさせるおそれのある内容がある発信
- (2) 他人や組織を誹謗中傷する内容や他人に不快又は嫌悪の念を起こさせるような発信
- (3) 公序良俗に反する内容の発信、他人の権利利益を侵害するおそれがある内容の発信及び社会規範に反する発信(差別的発言等)

2 国民から疑惑や疑念を持たれないこと

職務専念義務が課せられていることに鑑み、出張中の移動時間や超過勤務時間を含め、勤務時間中の発信は行わない。



国民から疑惑や不信を招くような行為はやめましょう！